

様式第 1 号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

①第三者評価機関名

一般財団法人 大阪保育運動センター

②施設・事業所情報

名称：アートチャイルドケア豊岡こうのとり 保育園	種別：保育所
代表者氏名：山本 進	定員（利用人数）：130名 (144人) 名
所在地：〒668-0852 兵庫県豊岡市江本35番7	
TEL0796-22-3550 FAX0796-22-3565	ホームページ : http://www.the0123child.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2014年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名）：アートチャイルドケア株式会社	
職員数	常勤職員：23名 非常勤職員：10名
専門職員	(専門職の名称) 名 栄養士 4人
	保育士 22人 看護師 1人
	調理員 2人
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)
	各年齢別の部屋（6部屋） 給食室・遊戯室・多目的室・地域交流室・職員室

③理念・基本方針

- 保育理念に「安全・安心・安定した保育」を行います。
- 「生きる力」を伸ばす保育を行います。地域社会との共存を大切にされた保育を行います。
- 保育目標・方針
 - ・「生命」を大切にする子を育てます。
 - ・心身ともにたくましい子を育てます。
 - ・やさしい思いやりのある子を育てます。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ①眠育、食育について専門機関と連携しながら保育園、家庭と一体となった取り組みをすすめています。
- ②リズム遊び、運動遊びを園上げて取り組んでいます。
- ③給食はコウノトリを育む米を使い、布団代の無償化を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 28 年 10 月 20 日 (契約日) ~ 平成 29 年 2 月 25 日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	初回 (平成 28 年度)

⑥総評

※当評価機関は独自に在園児保護者アンケートを実施し評価の参考にしています。
 ※全国社会福祉協議会の評価基準ガイドライン改定に伴って、兵庫県の評価基準も2016年度から改定されました。評価項目ごとの「a b c」の評価は兵庫県の評価基準と判断基準に従い、「a」判断基準(取組)全て実施している、「b」判断基準(取組)の一部を実施している、「c」判断基準(取組)のいずれも実施していない。

◇特に評価の高い点

アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園はJR山陰線豊岡駅から車で10分程度のところにあり、県営・市営住宅地に隣接し、公園があり、田園風景が広がるゆったりした環境のなかに位置し、平屋1階建ての建物です。園庭は818,35㎡と広く、324,08㎡ある多目的スペースと隣接していることから子どもたちはその空間を伸び伸びと行き来しています。

訪問調査時には雪が園庭に積もり、子どもたちはソリで滑ったり様々な雪遊びをしたりしている姿があり、自然に囲まれた環境を存分に体験していました。

○各クラスが毎日記録する「保育日誌」に施設長は保育士が記録する子どもの姿に共感や励ましのことばを毎日赤ペンで応答し、保育士を励ましています。主任は保育経験のある管理職として保育士の相談にのりながら保育の質を高めていくリーダーシップを発揮しています。

○配慮が必要な子どもへの対応もあり、職員は基本的に常勤職員を配置して対応していること等から子どもがゆったりと落ち着いて生活を営んでいます。

○給食には地元のこうのとり米を取り入れ、米飯を基本にし、冷凍食品は使用しないなど身体づくりに力をいれています。

◇改善を求められる点

○保育課程・指導計画・年間計画を作成し保育を具体化しています。当番活動や係活動も行われていますが、今後さらに年齢に相応しい他者関係を築く集団づくりの視点を保育の内容に取り入れることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園から3年。どの子どもも楽しく登園し、笑顔いっぱいになるよう全職員は全力で取り組んできました。次のステップに向けた時期のタイムリーな第三者評価でした。ご指導いただいた事項を基に、一人ひとりの「いのち」が輝きますように、職員でじっくり話し合い、保護者、地域とともに「理想の保育園」を目指していきます。

⑧各評価項目に係る第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。
 ※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-1(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
□	I-1-1(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
〈コメント〉 理念や基本方針はアートチャイルド社が明文化していて、職員にも徹底しています。保護者にも入園のしおりなどで説明しています。業務マニュアルは本社で作っていますが、職員処遇の記載など内容の見直し、充実を期待します。また全職員に配布を望みます。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-1(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
□	I-2-1(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
〈コメント〉 公立保育所の民間移管を受けて3年目。市の福祉計画や保育施設の状況の把握に努めています。年3回開催される民間保育園部会に参加しています。財務などについては本社が担当し、報告を受けていますが、把握・分析には至っていない状況です。		
□	I-2-1(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
〈コメント〉 日常的な経理は保育園でしていますが、経営状況の分析も含めて年間の収支決算などは本社がしています。本社の報告・指示を受けて保育園として例えば節電などに取り組んでいます。国の給付金の状況や処遇改善費についても保育園として把握していない状況があります。今後の改善を期待します。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-1(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
□	I-3-1(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c

<p>〈コメント〉 開園3年目で、ようやく今後の計画について具体化する作業を始めています。職員全員が4つの専門部会（①発達に合わせた環境づくり、②保育内容・あそびA、③保育内・あそびB、④連帯、交流、特定課題）に入って今後の3年計画を検討しています。本社とともに今後中長期ビジョンや計画の策定を期待します。</p>		
6	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>〈コメント〉 今年度は「地域連携と子育て支援」を重点に取り組む計画を立て、園長が毎週職員に向けて発行している通信「今週のお知らせ」に掲載し、職員全体に周知しています。保育計画とは別に「地域連携と子育て支援」を含めた事業計画を策定することを期待します。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直し が組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p>〈コメント〉 保育園の事業計画の策定にあたっては「お客様満足度アンケート」や職員アンケートを実施して職員が参加して分析しています。開園3年目ということも踏まえて、事業計画などについて今後、組織的な見直しを期待します。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>〈コメント〉 保護者会総会に園長が参加し、年間計画を配布し説明しています。保護者会役員や協力委員との懇談を実施し、保護者の参加を促していますが、保護者が理解していくための分かりやすくするための工夫が望まれます。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>〈コメント〉 保育の振り返りを重視しています。職員が参画して評価結果を分析・検討する体制の強化が望まれます。 第三者評価の受審は今回が初めてです。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>〈コメント〉 職員アンケート、保護者利用満足度アンケートはていねいに分析し、職員に周知しています。 地域の民生委員、保護者会役員が参加する運営委員会を開催し、組織的に評価、改善する仕組みがあります。職員の積極的な参画を期待します。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉑・b・c
<コメント> 業務マニュアルで施設長として役割を明確にし、職員からの信頼を得ています。毎週発行している「今週のお知らせ」で方針や姿勢を明確にしています		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉑・b・c
<コメント> 本社の園長研修で国の動きや法令などについて学び、職員に伝えています。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉑・b・c
<コメント> 全てのクラスの保育日誌に目を通し、ていねいにコメントを書いてフィードバックしています。「今週のお知らせ」で保育日誌の評価反省から全員に伝えたいことを記載しています。本社の研修に参加し、文書で報告しています。園内研修や豊岡市の研修にも参加しています。>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・㉒・c
<コメント> 人事、労務、財務については本社が管轄し、定期的に園長会議で報告されます。本社の担当マネージャーと情報交換して対策を立て実行するシステムになっているため園独自の実効性の向上が求められます。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・㉒・c
<コメント> 人材の確保等については基本的には本社で行っています。このとり保育園の職員は地域限定採用職員で、リフレッシュ休暇の取得ができない等のリスクがあります。本社と連携した計画的な人材確保の方策を期待します。		

15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉</p> <p>めざす職員像を「アートチャイルドケアの誓い」として職員に徹底しています。自己評価を基に園長が年4回職員面談をして職員の意見などを聴取しています。処遇改善について園として職員とともに検討することを期待します。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉</p> <p>産休、育児休暇、マタニティー休暇（通院休暇）子どもの看護休暇は整備しています。また、産休・育休から復帰する場合の奨励金制度があります。残業やサービス残業をなくす努力をしています。人事基準や賃金体系を職員に明示しています。</p> <p>ん。福祉人材の確保や人員体制に関する具体的な計画が必要です。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>9月末と3月末に人事考課が実施されています。また、職員アンケートや職員チェック表に基づき職員面談を年4回実施しています。職員一人一人が目標を持ち自己評価をしています。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉</p> <p>本社の選択研修や外部研修などに負担にならない範囲で参加し、文書で報告していますが、園独自の研修の充実やカリキュラムの見直しを期待します。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉</p> <p>市の年齢別研修や公開保育に参加しています。アートチャイルドケア社の研修に参加して交流しています。毎年公開保育を実施しています。講師2名を招聘しての園内研修、他クラスの保育に入って学ぶ研修を行っています。自主研修に参加費や旅費を園で負担しています。今後さらに職員一人一人が計画を持って研修の場に参加できるよう期待します。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉</p> <p>年間3名程の実習生を受け入れています。プログラム作成や指導者研修の取り組みを課題としています。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・㊦・c
<コメント> 園だよりを近隣地域に配布するなど保育園への理解を広げるなど今後の取り組みの充実を期待します。		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・㊦・c
<コメント> 本社の内部監査は年1回実施しています。内部監査の結果について職員に報告しています。保育園の外部監査は実施していません。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・㊦・c
<コメント> 民生委員の参加を得て地域運営委員会を開催しています。祖父母交流会には園児の祖父母だけでなく地域のお年寄りも参加し、楽しい取り組みになっています。地域の行事などへの参加とともに地域とのかかわりについての基本的な考え方の文書化を望みます。		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・㊦・c
<コメント> 地域のボランティアを積極的に活用しています。訪問調査の日に英語あそびのボランティアさんが幼児クラスを雪だるまの扮装で回って子どもたちと遊んでいました。地域の方から農園を借りて野菜作りを指導してもらっています。地域の学校教育等への協力についての基本姿勢の明文化を望みます。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・㊦・c
<コメント> 開園3年目ということもあり、地区関係機関・団体とのつながりを一層深めていくことを期待します。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・㊦・c
<コメント> 公民館を利用した「親子クッキング」や祖父母交流会など取り組みを始めているが、保育園の施設や機能を生かしてより一層地域のまちづくりや活性化に貢献することを期待します。		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㊦・c

<p>〈コメント〉</p> <p>開園3年目で保育園に対する期待が高まっています。地域子育て支援の拠点として一層の充実が求められます。園の施設設備を生かした地域住民参加型の具体的な地域貢献活動の取り組みを期待します。</p>
--

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉</p> <p>本社から年一度研修を実施しています。グループごとで討論をして深めています。「業務マニュアル」はありますが、子どもを尊重した保育に関して明記した「倫理綱領」も含めた「職員ハンドブック」の策定が望まれます。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉</p> <p>業務マニュアルを整備しています。個人情報や虐待防止についての研修に取り組んでいます。</p> <p>当評価機関が実施した保護者アンケートにプライベートに関する記述がありました。業務マニュアルに子どものプライバシー保護や権利擁護の記載をし、職員への周知とともに保護者対応への研修と周知が課題です。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉</p> <p>ホームページや入園のしおり等で説明をしています。自治体の窓口や公的施設など多くの市民が入手できるような場所にも設置しています。開園3年目ですが、今後、利用者の実態に即した見直しを期待します。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㊦・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>重要事項説明書で説明しています。大きな行事については保護者アンケートを実施し、保護者の意向を把握の努力をしています。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・㊦・c
<p>〈コメント〉</p> <p>保育所の利用後の相談窓口は園長・主任と決めています。小学校と情報交換等連携を図っています。保育の継続性について保護者への説明文書の作成が望まれます。</p>		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・㉔・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園独自で保護者アンケートを年2回、本社全体では年一回実施し、アンケート結果は民生児童委員で構成している運営委員会、職員、保護者にも報告しています。職員が保護者会に参加しています。当評価機関が実施した保護者アンケートに延長保育料について意見がありました。保護者の利用者満足に関し、組織的に対応する委員会の設置を期待します。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・㉔・c
<p>〈コメント〉</p> <p>意見箱は保護者が見えやすい玄関に置かれ、苦情解決の責任者、担当窓口、第三者委員など苦情解決の仕組みを玄関に掲示しています。苦情内容、解決の内容はホームページで公開していますが、保護者が苦情を申し出やすい環境の整備の工夫を望みます。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・㉔・c
<p>〈コメント〉</p> <p>保護者からの相談等については重要事項説明書に明記しています。相談のスペースについても確保しています。</p> <p>当評価機関が実施した保護者アンケートには「保育士が忙しそうでなかなか相談しづらい」の意見が寄せられていました。保護者が安心していつでも相談できるシステムについて保護者・保護者会とともに工夫することを期待します。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・㉔・c
<p>〈コメント〉</p> <p>相談対応マニュアルや引継ぎ表で迅速に対応するよう努めています。当評価機関が実施したアンケートには子どもの衣類の間違ひについての指摘がありました。保育の内容について給食室、各クラス代表での議論、さらに職員会議と組織的な体制の確立が望まれます。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・㉔・c
<p>〈コメント〉</p> <p>事故発生マニュアルを作成しています。ヒヤリハット、軽傷の事故については毎日の昼間のミーティングで報告しています。看護師が今年度後半から就任しています。開園3年目でもありますが、子どもの健康管理・事故管理について今後、看護師とともに職員全員で安全確保や実施状況について定期的な見直しの取り組みに期待します。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉔・b・c

<p>〈コメント〉 感染症マニュアルは作成しています。感染症流行期には職員にも伝達し、感染所防止に努めています。家庭への協力が必要な場合は保健だよりを発行しています。</p>		
39	<p>Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に 行っている。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>〈コメント〉 災害時マニュアルを作成し、防災計画に基づき、毎月災害時避難訓練を実施しています。過去の台風水害経験から水害避難対応訓練を継続しています。備蓄品のリストを整備し、自治体、消防署、警察、自治会等情報を共有しています。</p>		
40	<p>Ⅲ-1-(5)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、 さらにその対応方法については、全職員にも周知している。</p>	<p>a・㉒・c</p>
<p>〈コメント〉 危機管理マニュアルを整備していますが、食中毒に関するマニュアルの明記は発生した時の伝達のシステムのみになっています。実際に発生した時の保育の現場での具体的な対応マニュアルの作成と定期的な見直しが望まれます。</p>		
41	<p>Ⅲ-1-(5)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、 全職員に周知している。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>〈コメント〉不審者マニュアルは整備しており、警察とも連携して職員の訓練をしています。 訓練ごとにマニュアルの見直しも図っています。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
42	<p>Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が 提供されている。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>〈コメント〉 保育業務マニュアルを基本に保育課程・年間指導計画の作成で保育の標準的な実施方法を定めています。毎日の保育日誌を作成し、園長によるコメントで振り返る機会になっています。</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立 している。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>〈コメント〉 半期ごとの見直しを実施しています。職員会議、4つの専門員会を開催して見直しをしています。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定して いる。</p>	<p>a・㉒・c</p>
<p>〈コメント〉 保育課程作成においては地域の民生児童委員も参加した運営委員会評価に基づき策定しています。配慮を要する子どもについては自治体から臨床心理士の指導や関係機関とも連携しながら個</p>		

別支援計画を作成して支援しています。今後、様々な職員も含めたアセスメントのシステムとその見直しの体制の確立を期待します。	
45	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。 a・b・c
<コメント> 年間指導計画の見直しは職員会議をはじめ、4専門部門で協議して見直しています。指導計画の変更は4期ごとに実施して担任から管理職に伝えていますが見直した内容を全職員に周知し、さらに意見を反映するシステムの確立が望まれます。	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
46	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 a・b・c
<コメント> 子どもの生活状況や発達に関する情報の記録は園が定めた記録のフォーマットに各クラス保育日誌としての丁寧に行われています。また、園長による共感と励ましのコメントが職員の意欲にも繋がっています。また、決められた様式でもあり、記録者に差異が生じないよう各クラスごとに子ども個人の名前の横に記入する欄を設けるなど工夫しています。	
47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。 a・b・c
<コメント> 記録管理者は園長が担い、「個人情報保護と守秘義務について」全職員を対象に研修を実施しています。また、保護者には入園説明会や保護者会や行事ごとに説明をしています。	

評価対象A 実施する福祉サービスの内容

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c

A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・b・c
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	a・b・c
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・b・c

特記事項

<p>保育課程の編成</p> <p>① 保育課程は理念や保育目標に基づき、職員参画の基に作成されています。ただ開設して3年目と いうこともあり、「定期的な見直しをして次の編成に生かす」については、今後の課題となります。今年度の振り返りを基に次年度の保育課程の完成を期待します。</p> <p>環境整備を通して行う保育</p> <p>② 各保育室は清潔が保たれていて、採光状況や空調も安全点検表に基づいて細かく点検しています。 また玄関、エントランス、各部屋をつなぐ廊下を広く取ることにより、子ども達が行き来するのにも安全です。今後は、子どもが自由に絵本を読んだり、友だちと小さな空間でくつろげるようなスペースの設定にも期待します。</p> <p>③ 各クラスの職員配置は、国の配置基準を上回った配置をしています。多くが正規職員で配置しています。そんな体制の中で、子どもたちは声を荒げたり泣いたり場面もほとんどなく、小さなトラブルでは保育士があいだにはいった働きかけをしていました。</p> <p>④ 保育士の子どもへの丁寧な働きかけが見て取れました。0.1.2歳児は、生活リズム表に基づき、 基本的な生活習慣を把握して、個々の子どもに合わせた働きかけをしています。 1歳児では、子どもが自分で着脱しやすいよう牛乳パックの台を用意したり、自分のものを片付けやすいように個人ポーチを使用するなどの工夫もしています。</p> <p>⑤ 雪の多い土地柄、子どもが冬季ものびのびと運動ができるように、ホールを広くしています。手</p>
--

作り遊具や、伝承遊びも各クラスで自由にできるようコーナーを設けています。近くへ散歩にも出かけます。絵本は必要なものを選んでクラスに置いていますが、今後はリスト作りなど、絵本の充実を期待します。

- ⑥ 0歳児の保育では、短時間ですが合同リズムに参加したり、異年齢の子どもたちとの交流も実施しています。保育士の配置が手厚い分、手をかけすぎないように指導計画に基づいて援助することが望まれます。
- ⑦ 3歳未満児の保育も、全員正規保育士で基準以上の配置がされています。子どもが保育士を介しながらも友だち同士で共感しあい、遊んでいます。短時間、合同リズム運動にも参加して、大きい子を真似ていました。0歳同様、個人の生活リズム表を作成し、きめ細かく担任同士の声の掛け合いも丁寧にできています。連絡帳の書き込みを通して保護者とのやり取りもできています。
- ⑧ 3歳4歳5歳児クラスの保育でも、全般に保育士の子どもへの対応が丁寧で、子どもたちも落ち着いて保育士話を聞いています。お正月遊びの「手作り福笑い」や「すごろく」、「コマ回し」などの伝承遊びもコーナーに分かれて自由に選択し遊んでいます。日本の昔からある伝統文化にも触れるよう、1月初めには「どんど焼き」を園庭で行いました。4歳児の劇づくりでは、保育士は子どもの表現を全体に返しなが、役の気持ちをみんなで共感しながら楽しんでいました。5歳児の当番活動では、一人一人が自身の力を発揮し、友だちとの協同で、自らの生活を作り出す経験を豊かに展開していくことを期待します。
- ⑨ 障がい児は、今年度は在籍していませんが、配慮の必要な子どもがいることもあり、幼児クラスも複数担任制をしいています。配慮の必要な子どもたちは担任にパイプ役になってもらいながら、安心して友だちと関わって生活しています。
- ⑩ 長時間保育では、5時までクラス保育をしています。5時から6時過ぎまで乳・幼児に分かれて保育をしています。広い廊下(ホール)があるので、子どもだけでなく保護者同士も会話したり、保育士からの連絡を受けています。6時から正規保育士2名で対応していますが1人は保護者との連絡に追われるので、子どもへの遊びの対応が手薄になっています。当評価機関が実施した保護者アンケートでは、1日でも6時半を過ぎたら1か月分の延長保育料がかかるとの声がありましたが、豊岡市の基準になっています。今後、園としても豊岡市への働きかけを期待します、
- ⑪ 小学校との連携は、数校区に分かれているので、各小学校との交流は各自です。園に近い小学校との交流はあります。豊岡市主催の幼保小連携の研修に担任が参加しています。就学に向けては小学校の教師に来てもらい懇談の場を持っています。

健康管理

- ⑫ 子どもの健康管理については、食育は眠育と合わせて健康づくりをしています。健康管理マニュアルを整備して体調に変化があった場合は、それに応じて看護師が対応しています。当評価機関が実施した保護者アンケートには、受診時の連絡に対して「知らされない」と意見がありました。今後伝え漏れの無いようにするための改善を求めます。保健だよりが毎月出ており、その時期の情報を保護者に知らせています。与薬のシステムも看護師により管理していて、誤飲はありません。「SIDS」の注意喚起についてもホール内にも掲示しています。

- ⑬ 健康診断は、個人ファイルを管理していて、気になる場合は看護師から直接保護者に話をし、話をよく聞いてもらい、必要に応じて保健師から健康診断について記載しています。健康診断の結果は毎回健康カードで全員へお知らせしています。
- ⑭ 今年度は強いアナフィラキシーを持つ児童は在籍していません。アレルギーのある児童に対しては、食器を区別し、トレーに入れて配膳しています。名前入りカードの使用、3歳未満児クラスでは給食時には必ず職員が横に付いているなどの配慮をしています。当評価室が実施した保護者アンケートでも感謝しているといった声もありました。

食事

- ⑮ 食育では、地域の農家をされている方に頼んで畑を借りて子どもたちが給食で食べる「玉ねぎ800本」を育てたりサツマイモを育てています。食に関心を持つため、全クラスが月1度のクッキングを実施しています。保護者向けの試食会や地域の公民館を使い親子クッキングも実施しています。調理師が保育室にも積極的に入り、配膳の手伝いや給食も一緒にたべています。
- ⑯ 給食マニュアルに沿って、子どもの状況に合わせて材料の刻みや量を加減しています。
- 献立は「アートチャイルド」からの統一献立を作成していますが、その中で地域性を大事にして、無農薬のこうのとりの米を使用し、基本は米飯給食にしています。毎月、アート社のある自治体の郷土食を1品、献立に入れていきます。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c

特記事項

<p>家庭との連携</p> <p>⑰ 家庭との密接な連携については、保護者の意見を聞くために、アンケートを行事のたびに実施するなどの努力をしています。また、分析もして職員間で共有しています。しかし、仕事の関係で懇談に参加しにくいといった声もあり、様々な条件で働いている保護者にどう対応するかなど職員間で話し合って改善・工夫することを期待します。</p> <p>保護者支援</p> <p>⑱ 送り迎えの時間帯に、園長は保護者に積極的に声をかけています。長時間の保育体制は、5時までクラスで保育をしています。また看護師や栄養士も同様に保護者に対応したり、雑談も含め積極的にコミュニケーションをとっています。育児相談の体制は整っていますが、相談件数は少なく、意見箱への投稿もほとんどありません。今後、保護者がいつでも相談しやすい環境の整備などの工夫を期待します。</p> <p>○子育て広場時には相談もあり、看護師や栄養士も参加して話を聞いています。</p> <p>⑲ 虐待に関しては、日々子どもの様子の変化などを確認しながら、虐待マニュアルにそって職員研修を実施しています。以前には、地域からの通報に対し、迅速に関係機関と連携して対応したケースもあります。</p>
--

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・㉑・c

特記事項

<p>㉑ 園長が「今週のお知らせ」を毎週作成し、各クラスの出来事を職員全員に共有できるようにしています。また、保育日誌には園長からの感想が一言あり、職員を励ます評価をしています。そのことにより職員の中に自信や意欲も生まれ、振り返りをより丁寧にしようといった意識が育ちつつあります。市やアートチャイルド主催の研修にも、職員は参加しています。末職員会議は、職員の負担軽減のために、長時間にならないように進められています。また毎月の月末の定例クラス会議（17:00～18:30）で、1ヶ月の保育の振り返り・評価を行い、来月の保育方針を立てています。（園長、主任が前半に入る）</p> <p>○ 「まとめ役会議」のようなものがありますが、組織的に「リーダー会議」と位置付けて定着させ 毎月のクラス会議と連動できるよう期待します。保育のケース会議や、教材についての研修など、園独自で「必要な研修」など職員とともに計画し、実施することを期待します。</p> <p>○ 保育の向上には管理者のリーダーシップと職員への励ましは重要です。3年目が過ぎ、保育士集 団自ら主体的に話し合っ、保育の中身を作り上げていくことを期待します。</p>
--